

肝炎患者のおかれた 状況について考える

公開シンポジウム

2020

2月16日

ホテルニューオータニ佐賀(鶴の間)

14:00 ~ 16:30 (開場 13:30)

肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究班では、肝炎対策基本指針において、肝炎患者等が不当な差別を受けることなく社会において安心して暮らせる環境づくりを目指すとしており、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。

今回、一般市民、肝炎患者、医療従事者の方を対象として、肝炎患者の偏見や差別についてともに考える公開シンポジウムを開催いたします。

関心のある方に参加いただきたいと思います。

研究班代表 八橋 弘

(国立病院機構長崎医療センター副院長)

プログラム

【開会挨拶】 八橋 弘

【司会】 四柳 宏

東京大学医科学研究所教授

<研究班報告>

八橋 弘

<偏見や差別に関する相談事例の紹介>

米澤 敦子

東京肝臓友の会事務局長

【休憩】 14:40 ~ 15:00

【パネルディスカッション】

【司会】 米澤 敦子・浅井 文和

元朝日新聞編集委員

<パネリスト>

八橋 弘

四柳 宏

梁井 朱美

全国B型肝炎訴訟九州原告団

及川 綾子

薬害肝炎全国原告団

中島 康之

全国B型肝炎訴訟
大阪弁護士会

<コメンテーター>

江口 有一郎

佐賀大学医学部附属病院特任教授

磯田 広史

佐賀大学医学部附属病院助教

是永 匡紹

肝炎情報センター
肝疾患研修室長

参加費無料

申込み不要

先着 300名

*事前の申込みは不要ですが、
座席に限りがあるため
300名に
限定させていただきます。

【閉会挨拶】 八橋 弘

独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター
肝疾患相談支援センター

受付時間：平日 (9:00 ~ 14:30)

TEL: 0957-52-3121 (代)

内線番号：5096

担当：富永